

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
花城 暢一			

講義概要	授業では社会における家族の意義や機能、子育てにおける家庭の役割等を学ぶ。また、今日の社会的状況と子育てを照らし合わせながら、子どもと家庭を援助していく知識・技術を習得する。講義の後半では、事例検討やロールプレイ等の演習を通して家族援助や地域福祉の視点から保育者に求められる専門性について考察を深めていく。		
授業計画	1	オリエンテーション 子ども家庭援助技術の考え方について 学習課題 予習：配布資料を読む。	
	2	家族全体を地域で総合的に支援する 家庭問題を総合的に認識していく 学習課題 復習：家族全体を支える取り組みについて振り返る。 予習：配布資料を読む。	
	3	人間・家族・共同社会の発達 共同社会と家族の変容等 学習課題 復習：社会や家族の歴史的変遷について理解を深める。 予習：配布資料を読む。	
	4	人間・家族・共同社会の発達 人間の生涯生活における家族関係等 学習課題 復習：ライフサイクルにおける家族関係について振り返る。 予習：配布資料を読む。	
	5	家族の意義と家族システムの危機 家族と共同社会における子育て等 学習課題 復習：社会における家族の捉え方などについて振り返る。 予習：配布資料を読む。	
	6	家族の意義と家族システムの危機 家族システムの危機に対する社会支援等 学習課題 復習：家族の役割と社会のサポートシステムについて振り返る。 予習：配布資料を読む。	
	7	家族支援の視座と方法 ファミリーソーシャルワークの視座と方法等 学習課題 復習：ソーシャルワークの体系について振り返る。 予習：配布資料を読む。	
	8	家族支援の意義と活動 子育て・子育て・親育ち支援の意義と活動等 学習課題 復習：家庭支援の意義と取り組みについて理解する。 予習：配布資料を読む。	
	9	家族支援の意義と活動 家族における文化伝達の内容と支援の方法等 学習課題 復習：家庭支援の意義と取り組みについて理解する。 予習：配布資料を読む。	
	10	家族支援の制度・施策の現状と課題 家族福祉サービス・家族支援のネットワーク化等 学習課題 復習：家庭を支えるサービスについて理解を深める。 予習：配布資料を読む。	
	11	家族支援の実際 子と親の事例研究・ロールプレイ 学習課題 復習：事例検討を通して家族支援について理解を深める。 予習：配布資料を読む。	
	12	家族支援の実際 子と親の事例研究・ロールプレイ 学習課題 復習：家族支援の実際についてインターンシップを通して振り返る。 予習：配布資料を読む。	
	13	家族支援の実際	

	<p>子と親の事例研究・ロールプレイ</p> <p>学習課題 復習：家族支援の実際についてインターンシップを通して理解を深める。 予習：配布資料を読む。</p> <p>1 4 家族支援の実際 子と親の事例研究・ロールプレイ</p> <p>学習課題 復習：家族支援のロールプレイの内容を振り返る。 予習：配布資料を読む。</p> <p>1 5 保育者の役割と専門性 保育者の役割と専門性について学ぶ</p> <p>学習課題 復習：保育者の役割と専門性について振り返る。 予習：配布資料を読む。</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①現代の保育問題や家族問題などの社会的動向を考える（分析する）姿勢を養うことができる。</p> <p>②家庭の機能と役割についての理解を深めることができる。</p> <p>③子どもや保護者とのコミュニケーションについて理解を深めることができる。</p> <p>④相談援助で学習した内容を踏まえ、対人援助およびファミリーソーシャルワークに必要な知識・技術を習得することができる。</p> <p>⑤子どもや家庭を支援していく際の保育者の役割と専門性について考察を深めることができる。</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：必要に応じて資料を配布します。</p> <p>参考書：『よくわかる ファミリーソーシャルワーク』 喜多祐荘・小林 理 編、ミネルヴァ書房</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	